

# 光市医師会報

平成 10 年 1 月号

No. 303



燈籠の灯

光市医師会



# 迎春



## 年頭の挨拶

医師会長 近藤 龍一

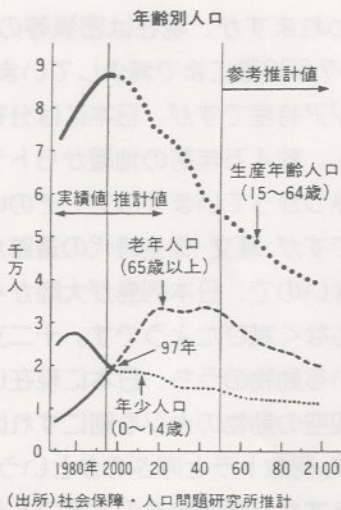
あけましておめでとうございます。皆様よいお年をお迎えのことと存じます。

昨年は医療費一部負担の増加による患者離れや消費税の値上げ、特別減税の廃止等、これ以上ない最悪のタイミングの政府失政による大不況への突入と全くよいことは何もありませんでした。年がかわれば少しは良くなって欲しいとは誰しも願うことですが、民間のシンクタンクの予測はいずれも厳しいもので、今年の成長率は1~0%、ゼネコン、銀行、準大手証券会社の倒産が相次ぐだろうということです。医療界にとっても、今年は薬価の引き下げと薬価基準の撤廃、日本型参照価格の導入、老人医療の1割自己負担、老人医療の包括化、慢性疾患の包括化、日本型DRGの導入、ビタミン・パップ剤・漢方薬等の給付除外など、いずれも我々に直接はねかえる施策が目白押しです。実際にどれ程実現するのは判りませんが、厳しい状況には変わりありません。ベルリンの壁崩壊に始まる激震が世界を覆っていることは間違いなく、好むと好まざるに係りなく大変革に巻き込まれ、それを乗り越えねばならない時のようです。

フランチェスコ・アルペローニはこういっています。「じつは、新しいものを見よ

うと欲しないのは我われなのである。というのは、我われは保守主義者であり、世界を理解し分類するのに用いている方式・図式を検討しなおすことを好まないのである。しかも、新しいものとはまさにそういう方式・図式と衝突するものなのである。新しいものは、たんに予測しなかったものであるだけでなく、奇怪で、狂気じみてさえて、我われを苛立たせるものである。新しいものは、人の心を不安にし、常軌を逸して、立派であったりいかがわしかったりする。」今の日本がまさにこうした状況にあると云えます。

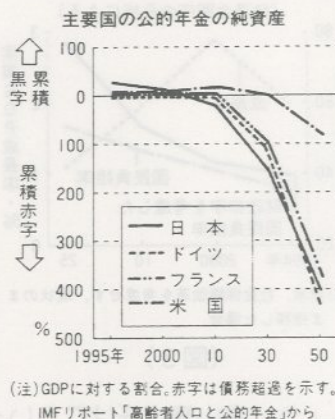
今の世界はアメリカ・イギリスを中心とした「アングロ・サクソン型経済」へと変革を迫られているわけです。「ライン型経済」のヨーロッパや日本が、今大変苦しんでいるわけですが、とくに日本は稀にみる成功を収めたが故に、変革は最も遅く、最も苛酷になるであろうといわれています。昨今の政治を見ますと、過去の成功体験より抜け出せず、もがき苦しんでいる様子が明らかに見られます。又、アルペローニはこうもいっています。「将来を予測する場合の最大の誤謬の原因の1つは、他者のルールとは異なるルールが自分にとって有効だと思



(図1)

込むことである。我われの創造能力は、つねに極度に限られたものである。我われは、ほとんどの場合、他者が考案し、つくったものを模倣し、採用するだけなのである。もし我われに、技術的により進んでいて、よりよい効率をあげているところで何が起っているかを観察しようとする謙虚さがあるならば、我われの将来を予見することも可能である。」やはり日本独自のやり方などであろうはずもなく、「アングロサクソン型経済」に変革するほかないようです。「アングロ・サクソン型経済」は公正な競争こそ最も善であるという理念ですから、激しい競争が日常的に起こり、少数の勝者と多数の敗者が生れます。弱肉強食の荒々しい資本主義ですから、勝者は賞讃され、敗者は見捨てられます。貧富の差も拡大し何とも苛酷な世の中となり、私は決して望ましいとは思いませんが、それが時代の流れならばどうしようもありません。

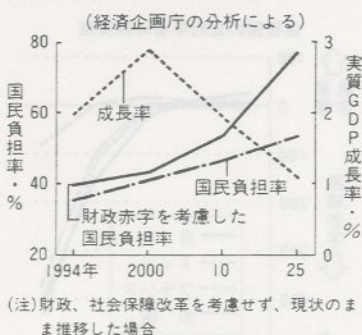
さて、厚生省によると日本の総人口は2007年をピークに減りはじめ、2050年に



(図2)

は1億人にまで減少するという事です。  
 図1のように老年人口は2030年まで増加しつづけますが、少子化の傾向は改まらないので生産人口は急激に減少しつづけることとなります。一方、医療費は95年度で27兆円ですが、2025年には141兆円に伸び、そのうち老人医療費は71兆円になるそうです。又、公的年金は2000年に赤字に転落、2010年には積立金が底をつき、2050年には累積赤字はGDPの400%に達する見込みです。(図2) 国民負担率は現在35.8%ですが、2025年には51.5%となり、財政赤字など潜在的な国民負担率は実に73%にも達する見込みです。(図3) つまり我われの将来は酷いものになるということです。これらはいずれも今のままで何もなかった場合の推計ですから、当然政府も次々と手を打ってくるでしょう。今までは高令化にばかり目がいって少子化対策はなおざりでしたが、少子化こそが日本の将来を左右する重要なポイントです。21世紀のキーワードは高令化ではなく「少子化」に

長期的な国民負担率と経済成長率の見通し



(図3)

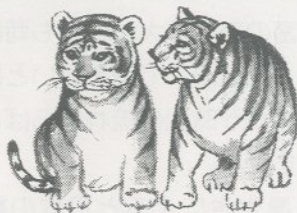
なるでしょう。高山憲之氏はこういっています。「人口が減って豊かさを維持し続けた国はかつてない。日本は歴史上のこの事実を深刻に受けとめなければならない。若い人がいない、子供の声が聞こえない、という『過疎』が日本の国土全体に広がる。『高令化対策』という名の高令者への優遇策ばかりに重点をおいてきたことを反省し、育児支援に大きく政策目標を転換させるべきだ。朝から晩まで家庭を顧みられないような労働慣行を改め、社会全体で育児を支援する必要がある。年金や医療については、制度の維持のために現役世代や企業の負担を重くすることは本末転倒だ。給付水準を引き下げればよい。欧米では同様の問題が起きた時、『子と孫の世代のため』と高令者世代を説得した。政治的決断を避けてはならない。」福祉や医療の大巾な切り下げ、年金のカット、増税などによる負担の増大といった苛酷な足音が急速に近づいて来ている。

さて、今年は寅年ですが、トラは西はトルコから東は中国、朝鮮半島、極東ロシアまで、南はインド、東南アジアにかけて分布し、今世紀初頭には約10万頭は生息してい

たといわれますが、現在は密猟等のため、5,100~7,500頭にまで減少しています。トラはアジア特産ですが、日本には分布していません。約4万年前の地層からトラの骨や歯がみつかっていますので、その頃はいたようですが、縄文・弥生時代の遺跡からは形跡がないので、日本列島が大陸から独立してまもなく滅びたようです。十二支に含まれている動物のうち、日本に現在いないのは、架空の動物のタツを別にすればトラだけです。何故トラと呼ぶのかというと、諸説ありますが、華南地方の方言でトラをさす「タイラ」が転じてトラになったという説が有力のようです。日本人がトラを知ったのは、欽明天皇の6年(545年)ですが、実際に渡来したのは宇多天皇の寛平2年(890)のことで、このとき初めて生きたトラの子が入ってきたそうです。秀吉の文禄の役の時にも、朝鮮からトラを生け捕って大阪城で飼育していました。付近の家で飼っていた犬を供出させて、それは餌にしていたが、その犬の中に強いのがいて反対にトラがかみ殺されたという話が伝わっています。

今年も多事多難な年となりそうですが、「虎と違って石を射る。」の心構えで頑張り度いと思います。

皆様の御健勝と御多幸をお祈りします。



〈会員広場〉

## 天国と地獄

私の家の近くに道路をはさんで向き合っ  
てパチンコ屋さんが二軒ある。経営者が南  
北に分れて居るので競争は激しい。道路ぎ  
わに立ててある広告板も、当然のこと乍ら  
南北戦争の様相を呈するのである。

或る朝散歩の道すがら見るともなく目を  
やって見ると、左側には「あなたを天国にい  
ざなう、よく入る恍惚のパチンコ」と書いて  
ある。こんな身近に天国があったなんて。右  
側とは見るとさすがまともに受けて立つ構  
えである。「地獄の沙汰も玉次第、出玉倍  
増」。日頃あんまり香しからぬ行いばかりし  
て居て三途の川の向うの閻魔様のご気嫌を  
気にして居る我々庶民の弱みを巧みに突い  
た心憎い言葉である。

右を見左を見して居るうちに何となくピ  
ンと頭にひらめくものがあった。こう云う  
時だけは不思議に冴えて来る私なのです。

すぐさま家にとって返し広告文の文字の  
大きさの紙を二枚こしらえ、一枚は白紙の  
まま、一枚には金の字を書き両方共裏に糊  
をつけて再び広告板へと取って返した。左  
側の名文句のパチンコのパの字の上に白紙  
を貼りつけ、金の字を右側の「出玉」の出  
の字の上に貼り付けた。

賢明な読者の方々には説明するまでもな  
く、パチンコのパの字は無くなって残りの  
三文字になる。厳粛にして気品溢れる三文  
字である。出玉の出の字は金の字に置き換  
へられたので金玉倍増、金玉は四個になり

## 河内山 清

ますよと云うことになったのである。

軍艦マーチのリズムに乗かってチン  
ジャラジャラ、入れば即ち出る。出れば又又  
入る。入る出る、出る入る。入れたり出した  
り、それ行けイクイク、大開放ジェット噴射  
だ……之では天国へ行かぬ方がおかしいこ  
とになる。

金玉倍増の方は之又ご婦人方が之を手の  
平の上でころがせて遊ばれるにしても、両  
の手の平にはさんで押し潰しペチャンコリ  
ンの刑に処せられるにしても将又口にほお  
ばってそのまろやかな味を楽しまれるにし  
ても、その感触、快感、風味は又確実に倍増  
するのである。家で角を生やして待ち構へ  
て居られる山の神様のご気嫌も玉次第、ご  
沙汰は上上めでたしめでたしである。何れ  
の広告の文句もおつりが来る程立派になっ  
たのである。

朝ご飯食べて居るうちにすっかり忘れて  
了い診療にいそしんで居ると、あたりは俄  
かに騒々しい。何事かと思ったがパチンコ  
の情報は極めて迅速且つ正確に伝はるもの  
である。まさかインターネットで流すわけ  
ではあるまいが。南北パチンコ屋さん共に  
店内に入り切れず溢れた人達が、十重二十  
重に人垣をなしてラブコールを送って居る  
のである。この様にして私は、はからずも地  
域活性化運動に一役買って出ることになっ  
たのである。

あまり次元の低いみっともないことばか

り書いて居ると吉村先生の顔にかかわることにもなり、読者の方々のひんしゅくを買うことにもなるので、今度は心に残るとして居きの心暖まる真面目な話です。

お餅の季節になりました。餅にからまった入歯を飲み込んで目を白黒と云う様なみっともない事になりたくないの歯医者さんに行くことにした。型の如く型を取り終へると先生は助手の人に、歯垢がたまって居るから取ってあげなさい、と云ってさっさと奥へ入って了はれた。

問題はこの助手の人である。花ならば八、九分咲きの桃の花。前々から私はその人のことを憎からず思っていた。私は女性であれば大体どんな人でも憎からず思うのであるが、特にこの女性は憎くない。

水平位に近い治療台の上に横はって居る私は意識的に目を閉じた。私は今、私の全身全霊を貴女に信託、預託いたします。どうぞ私を貴女の思う様に料理して下さい、と云う意思表示のつもりである。それに目をつむって居る方が想像力も豊になり、感度も鋭敏になるのである。

心の中の時計の秒針がカチカチと時を刻んで居る。息をひそめてしばらくが経った。

そよともするかすかな空気の動きと、みずみずしい白桃の実の香りとで彼女の体が私に近づき、私の上におっかぶさって来るのが分った。口を開けて下さい、とその人はささやく様な声で云った。既に思考力を失って了って居る私は、魔法にかかった様に夢うつつで口を開けた。遂にその一瞬が来た。その人の指が軽く私の唇に触れた。勿論歯垢を取る為である。だが私にとって歯垢なんかどうでもいいのである。

その指、その手は細くやわらかく、やさしくしなやかで而も情感に滲んでしっとりとし、恥らいを含んで居る様にさへも感じられるのである。中央区毛黒町袋の上にお住いの私の一人息子さんは、知覚、運動神経共に既に七、八分方麻痺して了って居られる。唇は私にとって唯一の鋭敏な性感帯なのである。

一瞬、私の体を電流が貫き稲妻が走った。

だが私はピクリとも動かなかった。彼女が驚いてその手の動きをやめることを怖れたからである。次第に彼女の手の動きは精巧繊細になって来た。縦に横に斜めに、そして北へ南へ東へ西へ。

それは無縫の天衣の様にやさしく、春雨の夜霧の様にしっとりとし、いとほしく撫でる様に、つつましくはさむ様に、もどかしくつねる様に、誘いためらふ様に 訴え恨む様に、むせびすすり泣く様に、その他諸々の様に。

私の唇がこの様にもてあそばれて居るうちに、どちらからともなく求め合ったのだろうか、私の唇の内側の粘膜と彼女の情感に濡れた指とが触れ合った。それは心ならずも引き裂かれて長い間離れ離れになって居た二つのものが、再会の歓びにもつれ合ひからみ合うものの如くであった。

私は声なき声でうめいた。そして舌先で彼女の指をさぐった。あらゆる超絶の言葉が叫びとなって口から迸り出そうになるのを私は必死でこらへた。絶頂と云う言葉がまどろっこしい程に私はのぼりつめた。昔の小説なんかには男女が結ばれることを、二人はその夜はじめて膚を合せた等と云う言葉で表現して居る。私達は指と唇、ほんの

ささやかな膚の接触だけで固く結ばれたのである。白昼堂々人目をはばからず、思う人との情交に酔った。失樂園なんてめではないのである。

私は不覚にも不謹慎にも無意識のうちに彼女の指を噛んで居た。然し彼女は最早噛まれた指を引っ込めようとはしなかった、動かそうとはしなかった。私は少しずつ歯に力を加へて行った。もっと強く、もっともっと、と彼女はあえぎ乍ら云った……………。

あ痛っ、私は歯ぐきのあたりにチクリと痛みを感じて目を覚した。意識は段々はっきりとして来た。そうだった、私はこの歯医者さんの治療台の上で、少し出っ歯の、研ナオコさんに似たこの新顔の助手さんに歯の垢を取って貰って居たのであった。歯をこするギーコギーコと云う音を聞き乍らウトウトと眠って了って居たのである。それにしても眠って居る間に何か気持ちいい夢を見て居た様な、何か楽しいことがあった様な気がしてならないのだが、ハテどんな夢だった。どうしても思い出せないのである。どうやら私の脳味噌もハイマーアルツ病に侵されて居るらしい。

宇宙人は心を昇華させ、心を見つめ合い、心を交流合体させることによってセックスのエクスタシーを楽しむのだと聞いて居る。私も夢の中ではあるが宇宙人の高次元、形而上セックスの入門篇を体験学習したのではなかろうかと自負して居る。まだまだ之から先奥が深い。この道を行くことこそ究極の修行であり究極の悟りであるのだ。私の残りの人生は、パッとバラ色に輝いて見える様だった。私は少年の様に希望に胸をふくらませ胸をときめかせて居た。とこ

ろがである……………。それなのにである。

昨年の忘年会の時のこと。酔っぱらって居たので誰が云ひ出したのかはよく覚えて居ないが、光医師会にも高齢者が増えた。ここらあたりで光医師会老人クラブでも結成してはどうであろう。そしてその発足パーティの催物の一つとして、飛ばしっこでもやってみたら面白いのではなかろうかと。

之は大変なことになった。私なんかスピン空銃砲かチューブの中詰りが練歯磨の様に出口から行儀よくおじぎをする位が積の山である。新鮮な果実を目の前に置いてそれを鑑賞し乍らなら話は別であるが。

兎に角私が抱きはじめて居たバラ色の未来の夢は厳しい現実に出くわして無惨にも跡形なく消え去ろうとして居るのである。私は夢の美しい幻影、かぐはしい面影を追って生きて行くべきなのだろうか、それとも荒れ果てた枯野に一滴の水を求めてシコシコと現実に勵んで行くべきなのだろうか。私の心の中にも一本の道を隔てて天国と地獄とが向き合っている様に思はれるのです。



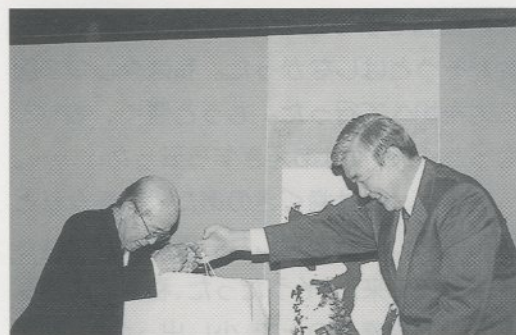
◎ 忘 年 会 ◎

日 時：12月11日(木) 午後6時30分～ 場 所：金久旅館 出席者：30名

〔竹中昭二先生・福本壽雄先生に古希のお祝い〕



(記念品贈呈)



(記念品贈呈)



(挨拶をされる竹中先生)

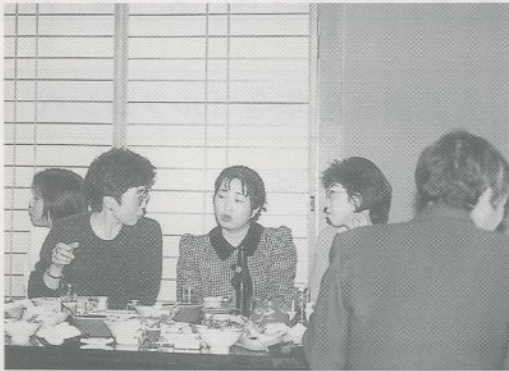


(挨拶をされる福本先生)

(( 忘 年 会 風 景 ))







## 12月度定例理事会

日時：12月10日(水) 午後7時30分～

場所：医師会事務局

出席者：近藤、前田、梅田、河村

光武、松村、藤原、吉村

議題：

- 1) 医師会長会議の報告 (近藤会長)
- 2) BCGの個別接種について (近藤会長)  
承諾する方向で検討
- 3) その他
  - ㊦市立病院より、「体外衝撃波腎・尿管結石破碎術の導入に伴う承諾書について」 (近藤会長)
  - ㊧行事報告 (河村理事)  
・永年勤続 ・親睦旅行  
理事会了承
  - ㊨胃癌個別検診読影料の会計について  
一般会計とは別会計とする

## 心電図研究会 (第114回)

光市・下松医師会合同

日時：12月12日(金) 午後7時30分～

場所：光商工会館

出席者：14名

講師：下松医師会 河野隆任先生

演題：

- 1) 75才、♂ (主訴) 動悸 (診断) 副伝導路症候群
- 2) 63才、♂ (主訴) 特記なし (診断) 上室性頻拍症
- 3) 76才、♂ (主訴) 左胸痛 (急性心筋梗塞一超早期の症例のEKG)

## レントゲン勉強会

日時：12月9日(火) 午後7時～

場所：医師会事務局

出席者：7名

講師：徳山中央病院 岡本安定先生

## 光医歯会遠征ゴルフコンペ

日時：11月9日(日)

場所：嬉野CC

氏名	OUT	IN	GROSS	H.D.	NET	順位
兼清	44	42	86	14	72	優勝
前田	49	43	92	16	76	準優勝
光武	49	42	91	11	80	3位
森本	46	43	89	7	82	4位
松村	52	52	104	21	83	5位
守田	49	44	93	9	84	6位
藤本	57	54	111	22	89	7位

## 光医歯会忘年会ゴルフコンペ

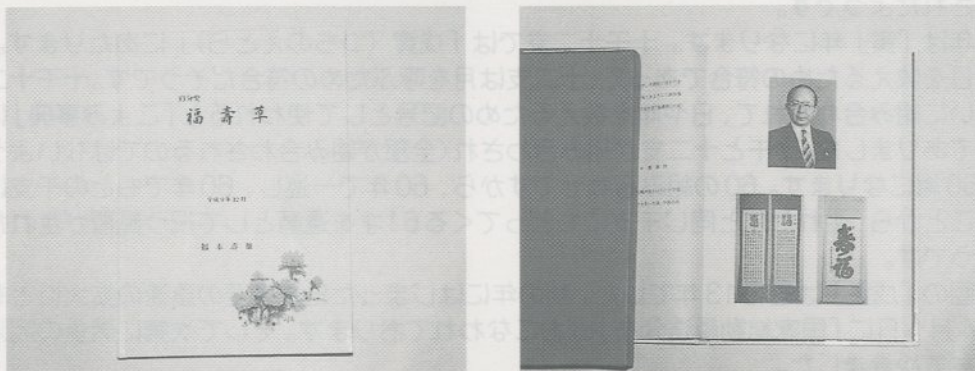
日時：12月21日(日)

場所：虹ヶ浜CC

氏名	OUT	IN	GROSS	H.D.	NET	順位
南	49	52	101	29	72	優勝
藤村	43	43	86	11	75	準優勝
松村	47	49	96	21	75	3位
佃	48	59	107	32	75	4位
光武	42	46	88	11	77	5位
森本	41	45	86	7	79	6位
守田	44	46	90	9	81	7位
横山	47	44	91	10	81	8位
前田	44	51	95	14	81	9位
竹中	49	54	103	21	82	10位
河村	52	60	112	28	84	11位
兼清	53	46	99	11	88	12位
藤本	53	62	115	22	93	13位
赤崎	49	—	—	18	—	—

ト ピ ッ ク ス

福本壽雄先生が「自分史・福壽草」を発刊される。



私がここ迄長生きできた理由の一つに、私の名前があげられると思う。私の父が命名してくれた福本壽雄という、略して「福壽」という名前が私を助けてくれたのだと思い、この自伝の本名を「福壽草」としました。「福壽草」と言えば、寒い冬につつましやかに、そっと咲く可愛い草花のイメージがあり、私とは凡そ縁遠い気がする。しかし、そんな私でも今後はなるべくこの花のように、つつましやかに生きたいとの願望から、敢えてこの名前をつけさせて頂いた。

(本の題名の由来を、序文より抜粋し、掲載致します。)

### 12 月 度 月 間 行 事

日	行 事	場 所
9	レントゲン勉強会	医師会事務局
10	12月定例理事会	医師会事務局
11	医師会忘年会	金久旅館
12	心電図研究会	光市商工会議所

### ⅢⅢ あとがき ⅢⅢ

新しい年を迎え、気持ちもあらたにお過ごしのことと思います。

1月20日が「大寒」にあたります。「大寒」の頃になるとさすがに寒さも厳しくなり、関東地方は大雪に見舞われました。光地方にも粉雪が舞う日がありました。暖冬という予報も修正されたようです。

今年は「寅」年になります。十干十二支では「戊寅（つちのえとら）」にあたります。十干は日を数えるための符合であって、十二支は月を呼ぶための符合だそうです。十干十二支は互いに組み合わされて、日や年を数えるための記号として使われると「こよみ事典」に解説してありました。十干と十二支が組み合わされ（全部が組み合わされるのではないようです）60組になります。60の組み合わせですから、60年で一巡し、60年でもとの干支にもどることから、生れた年と同じ干支にもどってくる61才を還暦として祝う風習が生れたのだそうです。

前回の「戊寅」は昭和13年でした。前の年にはじまった日華事変の急速の拡大にともない、4月1日に「国家総動員法公布」がおこなわれております。そして次第に戦争の泥沼へと落ちてゆきました。

更にその前の「戊寅」は明治11年で、江戸時代中期以降、精米技術の進歩で脚気がまん延し、7月10日に大久保利通の勸告により、東京に脚気病院ができております。なお同年8月24日、前年の西南戦争の論功行賞が士官ばかりだった事の不満が爆発し近衛砲兵隊の反乱がおこっております。

福本先生が「自分史・福壽草」という大変素晴らしい本を発刊されました。作成にはずいぶんご苦労があったと思います。「福壽草」の異称は「元日草」「朔日草」といわれ、大変縁起のいい異名です。新年号に掲載するのにふさわしい名前です。この場を借りて、本を頂戴したお礼と、労作への敬意を申し上げます。

浅江神社の石段の燈籠に正月三日間灯をともしという事で、夕方薄暗くなるのを待って出かけて見ました。日本的なはなやいだ中にも幻想的な風景をかもし出しておりました。表紙の写真に使用しましたが、残念ながら素人の写真ですから、幻想的な雰囲気など出ておりませんでした。

寅（虎）年の今年は、西宮地方で眠っている虎は今年は目を醒ますのでしょうか。そして大あばれをするのでしょうか。昭和10年12月10日に「株式会社大阪野球倶楽部一大阪タイガース」として発足しております。タイガースと名付けたのは、大阪は日本一の工業地帯であり、アメリカ大リーグのデトロイト・タイガースが、大工業地帯のデトロイトに本拠地をおいているから、それにあやかったとの事です。眠っている虎の住居の甲子園は、大正13年に作られ、この年が「甲子（きのえね）」にあたるこの名前が付けられたそうです。

今年の医療情勢は、前回の「戊寅」の年が戦争の泥沼に落ち込んだように、今年の「戊寅」も、きびしい泥沼に落ち込んでゆくのでしょうか。正月の浅江神社の夕闇の中の燈籠の灯のように、うっすらと明るい光を照らし出すように願いたいものです。（吉村）

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	近藤龍一
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社